

常高院(お初)について 常高院の生涯 -

H22.11.17 (水) 午後7時30分~9時
若狭町中央公民館 2階第2会議室
小浜市教育委員会文化遺産活用課
松澤 那々子

1. お初が育った時代

京極氏と浅井氏

主君と家臣の関係だったが、浅井氏台頭後、浅井氏の小谷城京極丸で生活

(京極氏) 近江源氏佐々木氏の系統、館を京都京極高辻に構える

^{たかうじ}高氏が室町将軍・足利尊氏に仕え、勢力を拡大。その後、^{たかひで}高秀、^{たかのり}高詮も将軍の信頼を得て、

^{ししき}四職家の一家となる。戦国期になり、^{もちきよ}持清が死去し、子の^{まさつね}高^し清・^ま政経が対立。

^{たかきよ}高^{たかひろ}清 ^{たかよし}高^{たかつく}広 ^{たかよし}高^{たかつく}吉 ^{たかつく}高^{たかつく}次

(浅井氏)

^{すけまさ}亮^{ひさまさ}政 - ^{ながまさ}久^{ながまさ}政 長^{ながまさ}政

亮政...大永5年(1525)、国人一揆により台頭

久政...天文11年(1542)、家督を相続

長政...永禄3年(1560)、家督を相続

浅井氏と六角氏

江北(湖北) - 浅井氏

亮政...六角氏と対立

久政...天文22年(1553)、六角氏と講和を結ぶ

長政...元服時の永禄2年(1561)、「^{かたまさ}賢政」だが、永禄4年(1563)、「長政」となる

^{ひら いさだたけ}六角氏家臣平井定武の娘を妻にする

江南(湖南) - 六角氏

京極氏と同じ近江源氏佐々木氏の系統

館を京都六角東洞院に構える



定^{よし}頼 ^{よし}賢 ^{よし}弼

2. お初周辺の人物

(父)浅井長政と(母)お市

お市...「無双の美人」

「緑鬢紅顔、楊柳の風に随ふ如く、桃花の露を含むに似たり」

婚姻時期 永禄4年(1561)説『川角太閤記』、永禄6年(1563)説、
永禄7年(1564)説『浅井三代記』、永禄11年(1568)説有

(夫)京極高次と(義妹)京極竜子 写真パンフレット参照

高次...お初とはいとこ同士の結婚

竜子...夫・武田元光の死後、豊臣秀吉に嫁ぐ

(義父)京極高吉と(義母)京極マリア

高吉...高慶、高佳とも。

マリア...浅井長政の姉・於慶

(養子)京極忠高と(養子)京極高政

忠高...実母^{おさき}於崎(玉台院)

文禄2年(1593)誕生

慶長14年(1609)小浜藩主

寛永11年(1634)松江藩に転封

寛永14年(1637)死す

高政...実母小倉新兵衛の姉

丸亀藩京極^{たかかず}高知の父

慶長6年(1601)誕生

寛永6年(1629)死す

京極高政の墓
(小浜市青井・高成寺)



3. 京極高次とお初の軌跡(関連年表参照)

お初 永禄11年(1568)誕生説、元亀元年(1570)誕生説有

4. 小浜市のゆかりの地(写真パンフレット参照)

常高寺 寛永7年(1630) 常高院の発願により建立
常高院墓所・肖像画等有

小浜城 慶長6年(1601) 夫・京極高次が後瀬山城を廃して築城開始

愛宕神社 元和元年(1615) 養子・京極忠高が後瀬山に勧請
常高院が霊夢を見て感激し、地藏十王像を奉納

証明寺 弘治2年(1556) 證誠寺(現在の鯖江市)の後継者であった浄善上人により開基

京極高次が小浜に入った後、証明寺2世の・浄恩法師が参内し、浄土真宗の法門を説いたところ、お初から帰依を受けた。その縁によりお初が証明寺に梵鐘を寄進

初寄進の梵鐘がある鐘楼
(小浜市小浜広峰・証明寺)



京極家家紋四つ目結の金具
(小浜市小浜広峰・証明寺)

